

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2 (70時間)	2年全クラス

使用教科書	副教材
なし	

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6 7	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	8	食品加工実習	1年次の農場実習から継続する食育教育の一環として、普段食べている豚枝肉を解体から見学し、ソーセージの段階まで調理することによって、食肉のありがたさを理解する。(8時間:事前・事後指導を含む)	
2	9 10 11	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	10	職業体験	1年次の職業学習をもとに、実社会で働くことで社会性を養い、礼儀を身に付けるとともに勤労の意義や尊さを知り、正しい職業観を培う。この経験をふまえ、今後の進路について考える機会とする。(19時間)	
	12	畜産・機械実習	農場実習、食品加工実習と連動した食育の一環として、牛と豚の世話を実際に体験することで食肉が初めから製品の形で存在するのではないことを実感する。また、トラクターの運転を経験し、農業への関心を高める。(8時間:事前・事後指導を含む)	
3	1	国際理解教育	ネイティブ教員と日本人教員によるチームティーチングで、これからの国際化社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。言語活動に専念するのではなく、言語の底に流れる文化も学ぶ。(年間35時間)	
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。